

(1)

令和7年11月9日 執行

多可町議会議員候補者 選挙公報

発行者 多可町選挙管理委員会



門脇きょうぞう

経験を生かし

共働のまちへ

・お年寄りに暖かい風を

・父 政夫の「敬老のころ」を引き継ぎます

・自慢できるまちづくり

「やれない理由を考へるよりは、どうすれば出来るか考へる」を合言葉にまちづくりを考えていきたいと思っています。

・住み続けたい町

住んでよかったと思えるまちへ」心から誇れる町を皆さんとともに実現してけるよう頑張ります。



青住 昌一郎

人が光るまちへ

— 小さくても強くてやさしい町の再生 —

・子供たちに「もっと」いっぱい体験を！

これこそ「投資」です

・キラキラ女性支援

女性が舞台に——ここから輝きを

・元気シニアの先輩がた

地域支え合いにヒトハダを

・つながりの再構築

それぞれの個性に合った仕組み作りを

—生きづらさに寄り添います—

街頭演説 100回挑戦中



おさむ 大山 由郎

多可町愛

多可町を愛することは

住民を愛することである

多可町のために

住民があるのではなく

住民のために 多可町がある

多可町の主人公は住民である！

多可町に住む全ての人のため

陽の光が隅々まで行き届くよう
我自身を削り政治活動をします



はしお 哲夫

明日の多可町を共に生きる

一、集落を元気にする町づくり

・女性の積極的な山画

二、高齢者も生きがいある町づくり

・シニアクラブの活性化

三、子どもの学力向上の町づくり

・国、県の全国学力テストで平均以上

(プロフィール)

昭和二十二年五月二十一日生まれ
八千代区大田在住
兵庫県立小野高等学校卒業 漢学専攻
中三シニアクラブ会長

(職歴)

元多可町老人クラブ連合会八千代支部副委員長
元多可町常任委員
元多可町常任委員
元多可町常任委員
元多可町常任委員



門脇やすふみ

①多可町の「南玄関口」道路整備

西脇市に抜けるトンネル構想(戦後の悲願)

加西市河内に抜ける道路(敬老の道)

②子玉を生む「ゆりかご基金」創設

出生に祝い金や、国保育児給付金を2歳児まで

③「互いに支えあう社会」の構築

「共存共栄精神」に基づく活動の充実
国民年金者への補助(年金の二重化を国に求める)

④農業の活性化「新しい農業政策」

農業する人に対して支援をしていく
新品種開発や商品化に経済的な支援を行う



あだち こういち
足立晃一

多可町を愛することは

住民を愛することである

多可町のために

住民があるのではなく

住民のために 多可町がある

多可町の主人公は住民である！

多可町に住む全ての人のため

陽の光が隅々まで行き届くよう
我自身を削り政治活動をします

(プロフィール)

昭和二十二年五月二十一日生まれ
八千代区大田在住
兵庫県立小野高等学校卒業 漢学専攻
中三シニアクラブ会長

(職歴)

元多可町老人クラブ連合会八千代支部副委員長
元多可町常任委員
元多可町常任委員
元多可町常任委員
元多可町常任委員



ひろのり 日原 しげき
(67歳)

多可町に『住み続けたい』『帰りたい』と思える、夢と希望のまちづくりを目指します



子ども、若者、お年寄りまで、皆が主役の多可町へ

プロフィール
兵庫県立西脇高校・大阪経済大学経営学部卒業
スナップ工房(PC販売・修理等)
北はりま農業訓練センター講師
多可町議会議員 議会運営委員会委員長
多可町議会議長 兵庫県町議会議長会会長

①子育て世代を全力サポート

・保育料無償化検討(0-2歳児も対象)
・子育て応援給付金の増額
・食の負担を軽く(学校給食完全無償化)
・病児・病後保育の充実
・学童保育の充実

②雇用機会の創出で若者定住

・デジタル技術を活用した企業支援
・企業新卒の積極推進
・テレワーク環境の整備
・地元企業との連携強化
・Uターン・Iターン就職支援

③暮らしやすい町づくり

・空き家活用促進
・住宅取得支援の拡充
・集落維持支援制度の創設
・世代間交流事業の拡大
・地域防災体制強化



ささくら とおる

多可町を愛することは
住民を愛することである

多可町のために
住民があるのではなく
住民のために 多可町がある

多可町の主人公は住民である！

多可町に住む全ての人のため
陽の光が隅々まで行き届くよう
我自身を削り政治活動をします

笑って
楽しい
町づくり
のためにがんばります

プロフィール
昭和二十二年五月二十一日生まれ 47歳
西脇市立小学校 卒業
西脇市立中学校 卒業
西脇市立高等学校 卒業
兵庫県立西脇高等学校 卒業
多可町議会議員 議会運営委員会委員長
多可町議会議長 兵庫県町議会議長会会長



山本かずき

私は誓います。
選挙の時だけ頭を下げて、当選したとたん態度を変える振る舞いのない事を。
議員個人の優越感を優先するような人間ではないことを。

■定数削減に反対、報酬増額に賛成。これが民意なのか。早急に改革が必要がある

■「揺れ」の少ない安全安心な町だからできる移住促進や企業誘致がある

■地方創生において、中小企業・小規模事業者の存在は「不可欠な基盤」。対話を駆動力に

新人だからできる「改革」がある！

町民の皆様が、何に困り、何を思い、何を信じているのか。

それがわからない人間は本当の議員ではない。

私は、いつまでも誠実に「本当」を追い続けたい！

(プロフィール)
\$40年8月生まれ。60歳。黒立西脇工業高等学校卒業。\$59-87まで民間会社勤務。
これまで・・・兵庫県北播磨ビジョン委員会 委員長。兵庫県長期ビジョン審議会 委員。
多可町消防団 団長。多可町生涯学習まちづくり委員会 座長。
現在・・・衆人笑劇演劇団「本山一座」座長。



たなくら なおき
棚倉 修規

「地元で育ち、地元とともに、65年」
「この町で生き、この町を守る、育てる未来」
「抱負」帰れる町、続く町、今できることを」

- ①人口減少対策、移住定住促進
- ②子育て・教育支援
- ③国・県の施策を活用した農業・産業支援
- ④高齢者・福祉の充実

多可町が直面する多くの課題に対し
住民の皆様、町職員の皆様としっかりと対話し
声をくみ取ることで、多可町が「消えない町」へ、
「輝き続ける町」になるように努力します。

